

## 会議録

会 議 名	平成 30 年度第 2 回芸術文化会館大規模改修検討会	
日 時	平成 31 年（2019 年）3 月 26 日（火）18 時 00 分から 20 時 00 分	
場 所	芸術文化会館（いちようホール）第 2 展示室	
氏 出 席 者 名 者	参 加 者	能祖 将夫・白澤 宏規・坂田 宏之・熊坂 麻由美・岩村 偉史
	説 明 者	市民活動推進部長・学園都市文化課長 ほか 4 名
欠 席 者 氏 名	本杉 省三・竹元 正美	
議 題	(1) 芸術文化会館大規模改修基本構想（素案）について (2) 改修事項に関する意見交換 (3) その他	
公開・非公開の別	「公開」	
非 公 開 理 由	-	
傍 聴 人 の 数	0 人	
配 付 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 1 芸術文化会館大規模改修検討会参加者名簿</li> <li>・資料 2 芸術文化会館大規模改修基本構想（素案）</li> </ul>	

<p>会議の内容</p>	<p><b>事務局</b></p>
	<p>本日の会議は、座長が欠席のため、副座長に進行をお願いする。</p>
	<p><b>議題1 芸術文化会館大規模改修基本構想（素案）について</b></p>
	<p><b>事務局</b></p>
	<p>～ 資料2 説明 ～</p>
	<p><b>副座長</b></p>
	<p>「これからの芸術文化会館のあり方」までが基本構想の整理になると 思うが、具体的な改修項目については、次回の検討会から議論する。</p>
	<p>本日は、基本構想（素案）についてご意見をいただきたい。</p>
	<p><b>副座長</b></p>
	<p>4種類のアンケートやヒアリングの結果について、まとめ方が異なるが 設問項目も異なるのか。</p>
<p><b>事務局</b></p>	
<p>それぞれの背景が異なるため、設問も異なる聞き方をしている。</p>	
<p><b>委員</b></p>	
<p>他のアンケート結果は分けて整理しており、指定管理者へのヒアリング 結果を他の調査結果と混ぜて整理しまうと分かりにくい。立場も異なる。</p>	
<p><b>委員</b></p>	
<p>利用者からの意見が一覧の中に含まれていることは良いが、誰がどの意 見を言っているのかは知りたい。意見ごとに発言者を 19 ページから 22 ページの一覧表で整理すればよいと考える。</p>	
<p>また、基本的な考え方の「まちの広場となる開かれた施設」を設定した 根拠は何か。市政モニターアンケート結果の「利用するきっかけがない」 との意見が多いことを受けて、この項目を設定したのか。</p>	
<p><b>事務局</b></p>	
<p>平成 29 年に「八王子市文化芸術振興条例」を策定した。その中で、「身 近な場所で文化芸術に触れることのできる環境の整備」といった文言が ある。また、「八王子市文化芸術ビジョン」の「方向性 04 観たい・聴き たいにこたえる」の中で、鑑賞・見学できる場の提供といった文言もあ る。さらに、市政モニターの結果で「身近で親しみがある」とほぼ同じ 割合の「利用するきっかけがない」といった結果からも裏付けられてい る。</p>	

**副座長**

7 ページの「八王子市文化芸術ビジョン」について、方向性 04 ではなく、「方向性 05 まちに、身近にとどける」が関連項目となるため、追加して訂正した方が良い。

**議題2 改修事項に関する意見交換**

**委員**

本施設は敷地に対して限界まで使われている状況であるが、高さも余裕はないのか。

**事務局**

高さ制限ぎりぎりまで建てており、基本的に増築は難しいと考えている。

**委員**

基本的に増築は難しいということか。サンクンガーデンなどの利活用は考えられる。

**委員**

トイレが不足していることや車いす対応となっていない問題について、他の機能を削減するなど、対応についてどのように考えているか。

**事務局**

他市の劇場の改修事例の視察をいくつか行っている。いずれの事例においても、課題としてトイレが挙げられている。各事例では、和式を洋式に変更し、数を増やし、「誰でもトイレ」を設置するなどの改善を加えている。どのように実現したのかは一概ではないが、基本計画の策定を進める中で、検討する予定である。

**副座長**

設備的な課題はあるが、出来ないことはない。また、トイレがどこにあるのか分からないという課題もあるため、案内表示の改善も考えられる。

**委員**

市民が利用するときだけに施設を訪れるのではなく、例えば、レストランの充実などにより普段から出入りしてもらうことや、市民センターまつりのようなイベントで会議室などを利用して、一般市民が集まりやすくすることは一つの方法ではないかと思う。また、地下駐車場は使いにくい。

**事務局**

「大規模改修の基本的な考え方」の中に「まちの広場となる開かれた施設」という項目を掲げている。アンケート調査では、きっかけがないと訪れないという意見があり、イベント時以外でも市民に立ち寄ってもらえるような施設のイメージであるが、現状はそういった造りとなっていない。

**事務局**

これまでいくつかの事例を見学してきたが、コンセプトを掲げて整備した事例等の情報があれば教えていただきたい。

**委員**

大和市のシリウスは図書館と劇場との複合施設であるが、SNSでも評判が良い。

**副座長**

大学生にどういった機能があれば利用するかなど、意見を聞いてはどうか。アンケートの対象としても良かった。

**事務局**

明星大学の授業の中で、芸術文化会館の魅力向上について考えてもらっている。新年度から本格化していく。その内容をこの検討会にフィードバックしていきたいと考えている。

**委員**

小さいお子さんのいる母親が、イベントが開催されていなくても訪れるといったことが実現できると、まちの広場という方向性は見えてくる。ただし、こういった運用は、職員の負担が大きいため指定管理者の姿勢が求められる。対象としては、小さなお子さんを持つお母さん方に向けて何ができるかということを検討していくと見えてくると考える。社会的に保護が必要な方が安心して集える広場になると良いと思う。ただ、運営側に大きな負担を課すことを覚悟した方が良い。

**委員**

まちの広場的な利用のされ方も良いと思うが、改修のメインはホールの充実となる。大勢の観客が来る中にロビーで親子連れが寛いでいると混乱してしまうことなども考えられ、難しい問題であると感じる。

**委員**

実際にまちの広場としての機能を持たせている劇場があり、人気も高い。小学生や高齢者が訪れて、職員とも交流も生まれている。現状どういった利用者が多いのか、また、今後、どのように使ってもらいたいのか、ニーズがどのように変わっていくかを読んでいくしかない。

**委員**

ロビーにて食事を禁止する理由は何か。

**副座長**

利用者間でも食事をしない方にとっては臭いが気になるといったこともあると聞いている。

**委員**

普通のコンサートで食事の時間は必要ない。ほんの一部の問題ではないか。

**委員**

本施設でのコンサートや舞台上演の際に、子供を預ける等の保育サービス付きの公演の実績はあるのか。

**事務局**

多くはないが実績はある。

**委員**

繰り返しとなるが、ホール自体の改修をメインとすることが望ましいと考える。この施設規模の中で様々な市民に訪れてもらう機能を持たせることは現実的ではないのではないか。まずは使い勝手の良いホールを目指した上で、ホール利用以外の方々とどのようにコミュニケーションを取っていくかを検討することが良いと考える。まちの広場も良いが、特別な場であってもほしい。

**委員**

まちの広場とすることとは矛盾はしないと考える。まちの広場としての利用は、実現できると素晴らしいが本気度が問われる。

**委員**

レストランについて、子ども連れが集いやすいなどもう少し開放的になると良い。

**副座長**

無責任な発言となるが、レストランの場所にコンビニエンスストアが入り、ロビーで飲食が可能となる方が人は集まる。

**委員**

便利にはなるが、コンビニエンスストアは寂しい。

**副座長**

2階のロビー空間は利用されていないのか。

**事務局**

奥まった箇所にあるためかあまり活用されていない。1階ロビーを含めて検討が必要と考えている。

**副座長**

どこが活用可能なスペースかという観点で見た方が良い。

**委員**

竣工した当時は、画期的な施設であると思っていたが、現在は利用しにくい箇所や無駄と感じるスペースがあり、活用の余地があると考える。

### **議題3 その他**

**副座長**

今後の進め方を事務局から説明いただきたい。

**事務局**

今回のご意見等を踏まえて基本計画の策定に進む。  
また、次回の検討会の日程は決定次第ご連絡させていただく。